「トライアル⭐オンライン対話プロジェクト」

連携・協力のお願い！

特定非営利活動法人
RJ 対話の会

●オンライン対話で「修復的対話トーキングサークル」を行います。

「修復的対話トーキングサークル」とは、お互いを認めあい、大切に思いながら、お互いの話をよく聞きあうことで、異なる考えの人の話を理解しようとする対話です。このような対話を通じて、「人としての共通性」に気づき、お互いを理解することで関係性が変化し、「つながり」が生まれます。たとえ、対立する関係や損なわれた関係であっても、より良い方向に向かうための「土台」が醸成されることが期待できます。

●対話の場には「サークルキーパー」が付きます。

「サークルキーパー」は、参加者が安心して安全に対話の場に居られるよう、見守りつつ、場をキープできるように取り計らいます。

■企画の意図

- ひきこもり等地域から孤立しがちな人を対象に、パソコンやスマホを使った「オンライン対話」の実施及び支援を行います。
- 新型コロナの感染予防対策が求められる中でも、実施可能な「対話」方法を広め、社会的孤立を予防し、「人とのつながりづくり」に貢献します。
- 参加のためのハードルを低くし、「ゆるやかな参加」による「複数の人との対話」の機会を提供することで、話すことの抵抗が柔らぎ、豊かな発想や考えが生まれることが期待できます。
- 「トライアル★オンライン対話プロジェクト」に、ひきこもり等の支援団体にご参加いただき、一緒にプログラムを開発しながら推進していきたいと考えています。

■支援団体に連携・協力をお願いしたいこと（例）

参加者のお誘い/参加者が安心して参加できる関係・環境づくり/必要に応じての参加者へのフォローアップ/他オンライン対話実施に必要と思われるご提案・ご助言など

■オンライン対話の意義・特徴

「聴くだけ参加」や「声だけ参加」も OK

１対１で向き合わない複数の人との多様性ある対話

かかわりを持つことが困難な人への新しい「アクセスチャンネル」が得られる。

■オンライン対話実施の基本的な仕組み

- パソコンやスマホの「Zoom」アプリを使用します。
- 少数の方（台数等限定）を対象に以下の支援も行います。
  - ① ネット端末機器(タブレット、ヘッドセットなど)、通信機器等の貸出し。
  - ② 機器の設置や使用方法等の説明スタッフの派遣。
- 支援団体のスタッフ向けに、オンライン対話実施のためのサポート講座を開催します（「オンライン対話プレ体験会」や「Zoom の操作方法講習会」など）。

このプロジェクトは、埼玉県の「豊かな地域福祉づくり推進事業」助成金を受けています。
【問合せ】特定非営利活動法人　RJ 対話の会　代表：梅崎薫
Mail:info.rj.practice@gmail.com/電話：048-973-4355（火・木曜 10：00～１5:00）